

# 紫明小学校 学校評価 特別号

## 学校だより

京都市立紫明小学校  
校長 森田 富美子  
平成 27 年 3 月 6 日

TEL: 451-2156 FAX: 431-5811  
<http://www.edu.city.kyoto.jp/hp/shimei-s/>



## 後期学校評価のアンケートにご協力有り難うございました。

寒さ厳しかった今年の冬もようやく終わりに近づき、春の兆しがそこここに感じられる今日この頃です。日頃は本校教育の推進に、温かいご支援・ご協力をいただきまして誠にありがとうございます。

さて、保護者の皆様には、後期の学校での児童の様子や学校の取組を見ていただき、1月末に学校評価のアンケートを実施させていただきました。



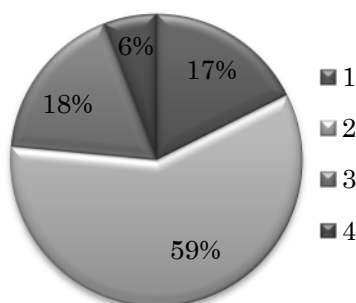
この学校だより「学校評価特別号」では、ご回答いただきました項目について、前期特別号と同様に「その内容を達成することが、児童の健やかな成長や学校教育目標の達成のために重要だと考えるか」という『重要度』と、「実際に紫明小学校の児童がどの程度身につけたり、達成したりできているか」という『実現度』の集計、さらに、児童を対象に行った「学校生活

ふり回りアンケート」で同じ項目があるものは児童の回答の集計をグラフにして横に並べ、対比して見ていただけるようにしました。また、自由記述欄にご記入いただきましたことは、大体テーマ別にまとめる形で、すべてを載せさせていただきました。

教職員につきましては、保護者の皆様と同じ項目について同じく「重要度」・「実現度」をどうとらえているかアンケートを実施して結果をまとめています。



グラフの見方について



「重要度」については、

1. 重要である
2. やや重要である
3. あまり重要ではない
4. 重要ではない

「実現度」については

1. よく出来ている
2. 大体出来ている
3. あまり出来ていない
4. 出来ていない

の4項目を真上から時計回りにグラフに表しています。印刷の関係で、見づらいものもあるかもしれませんので、学校ホームページでもご覧いただけるようにいたします。

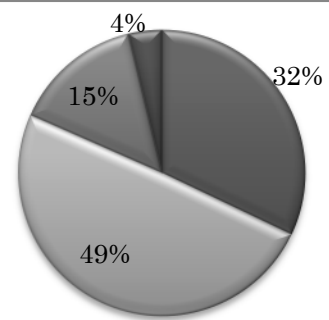
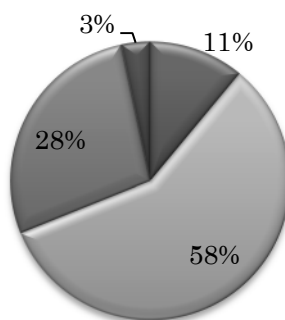
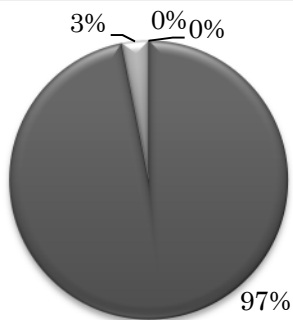
◆確かな学力の向上に向けて

保護者：重要度

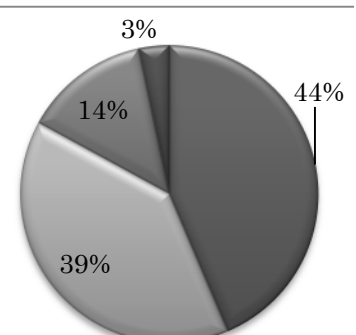
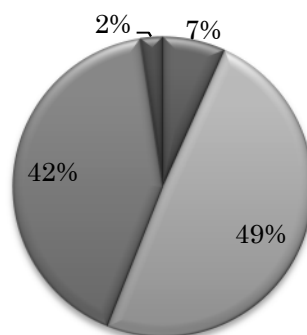
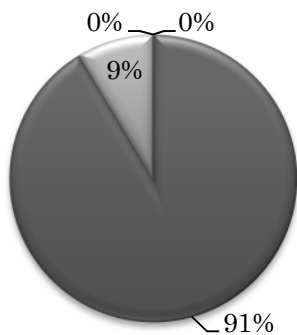
保護者：実現度

児童：実現度

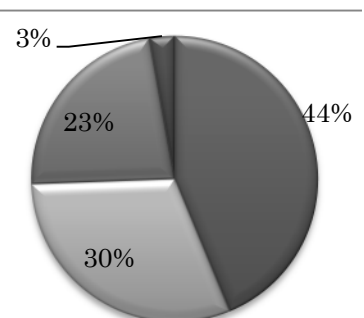
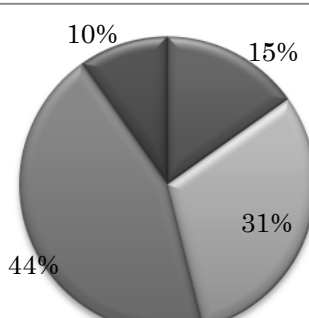
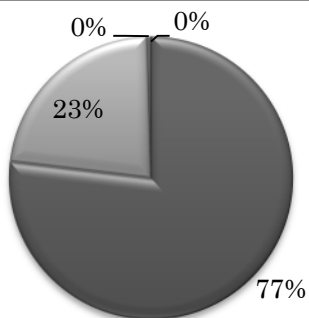
人の話を最後までしっかりと聞く



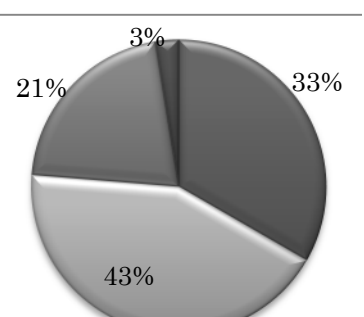
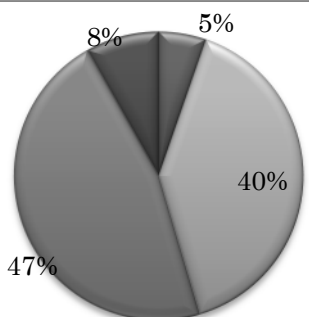
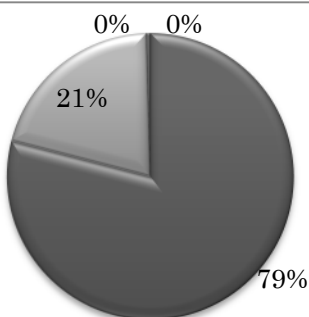
自分の考えを最後までしっかりと話す



すすんで読書に取り組み、本に親しんだり、目的に応じた読書をしたりする



書こうとすることを明確にし、自分の経験や考えや思いを文章に書く



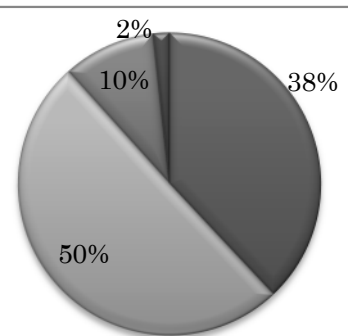
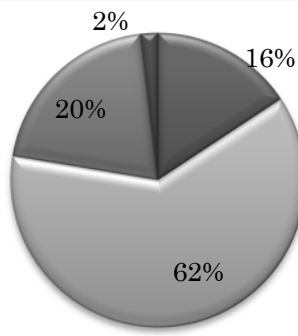
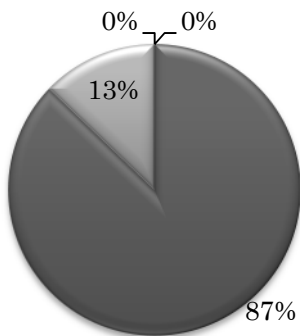
◆豊かな心の育成に向けて

保護者：重要度

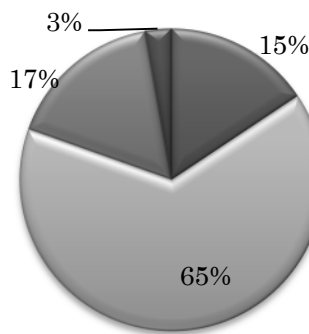
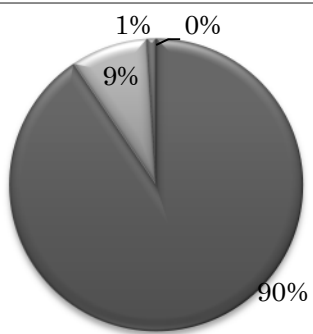
保護者：実現度

児童：実現度

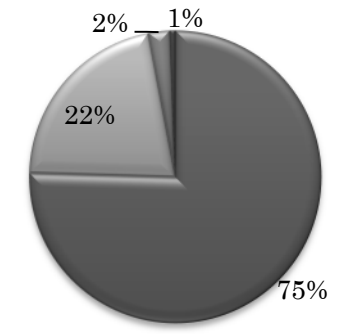
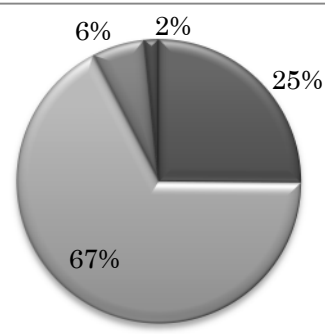
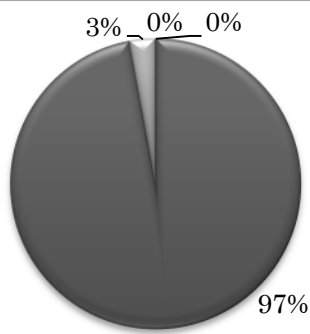
自分で考え、正しいと思う行動をする



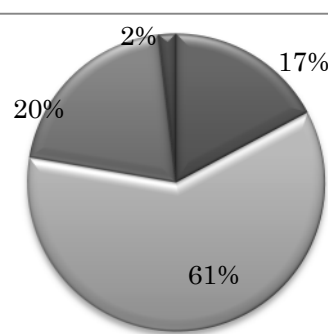
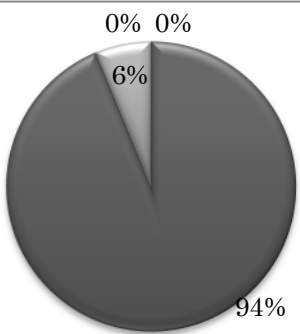
一人ひとりの違いを理解する



自分も友だちも大切にする



課題にむかって、根気強く取り組み、最後までやりぬく



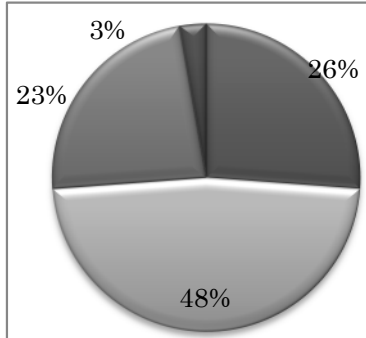
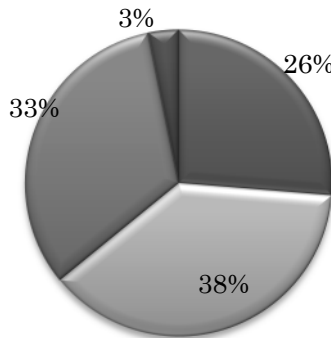
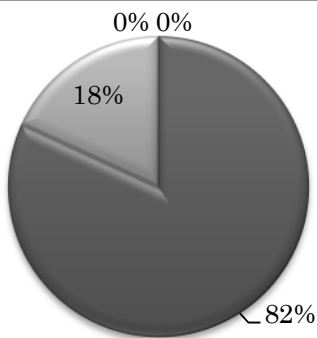
◆健やかな体の育成に向けて

保護者：重要度

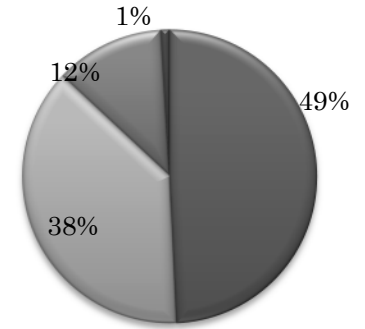
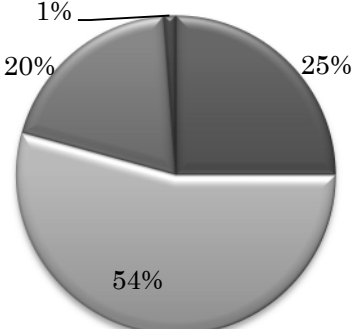
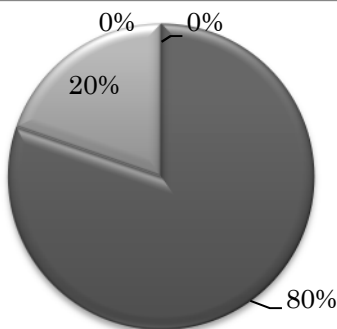
保護者：実現度

児童：実現度

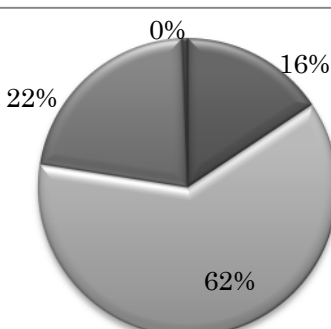
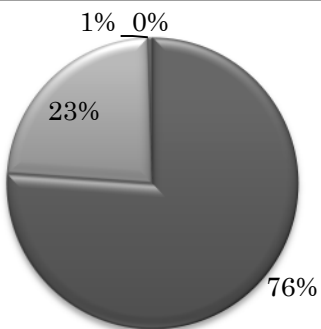
早ね・早起き・朝ごはんを習慣づける



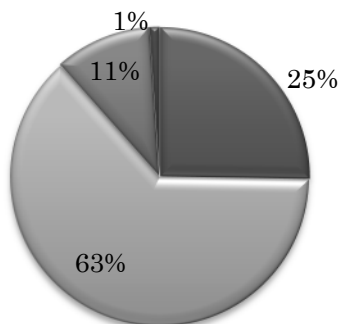
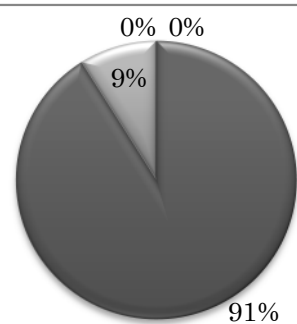
うがい・手洗い・歯磨きをきちんとする



すすんで健康な体作りをする



安全面に気をつけて行動する



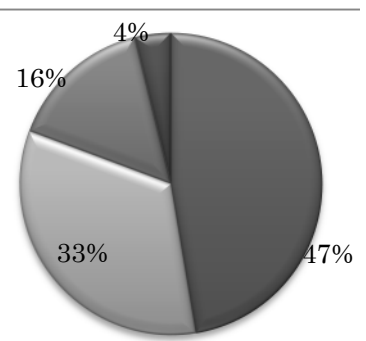
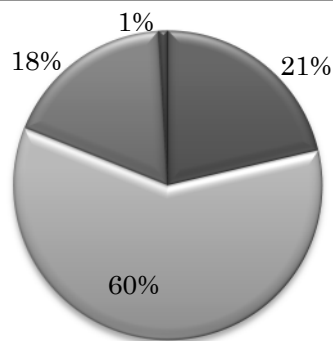
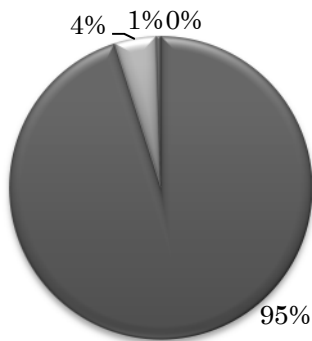
# ◆紫明小学校の取組について

保護者：重要度

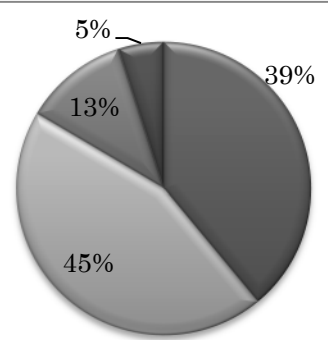
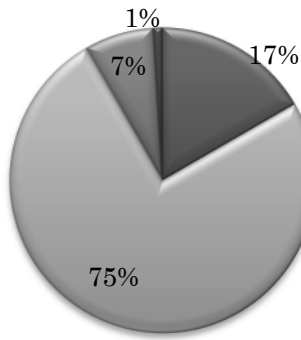
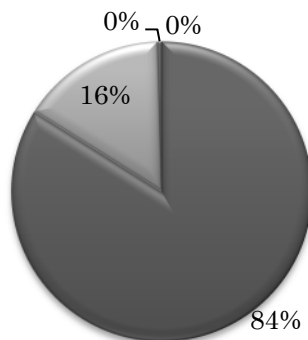
保護者：実現度

児童：実現度

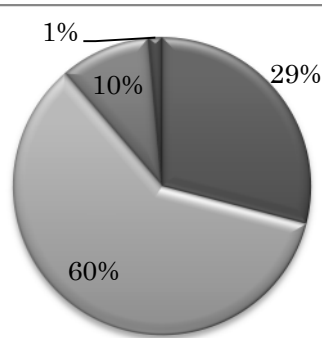
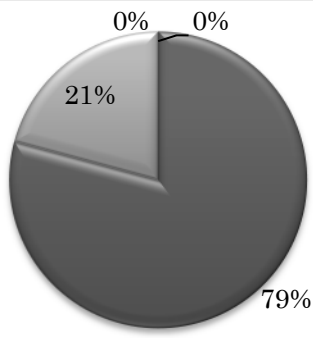
元気にあいさつをする



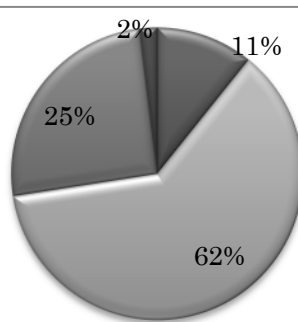
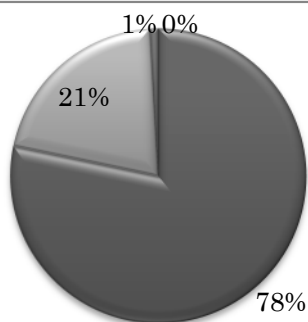
「紫明校のやくそく」を守る



「たてわりグループ」の活動で、いろいろな学年の人と、なかよくしたり協力し合ったりする



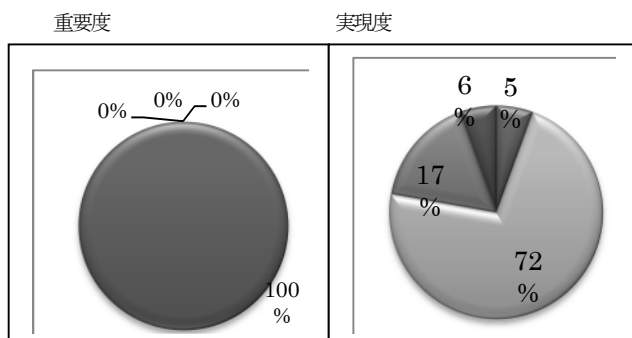
道徳で自分の考えや思いを出し合って、深めたり広げたりし、日常生活に結びつける



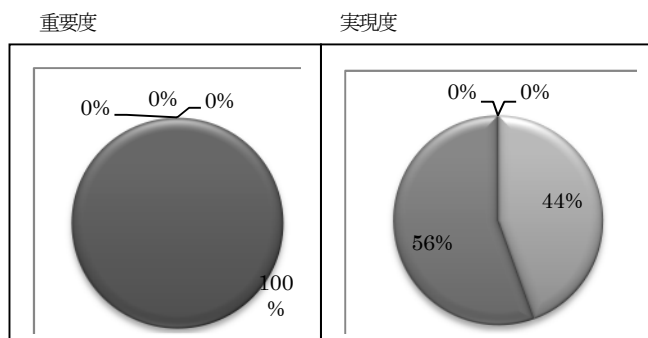
## 教職員評価のまとめ

### ◆確かな学力の向上に向けて

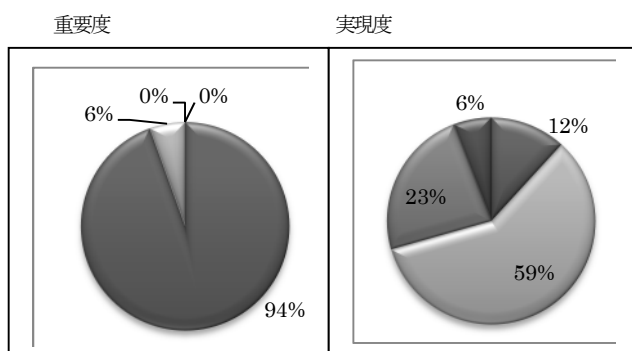
●人の話を最後までしっかり聞く。



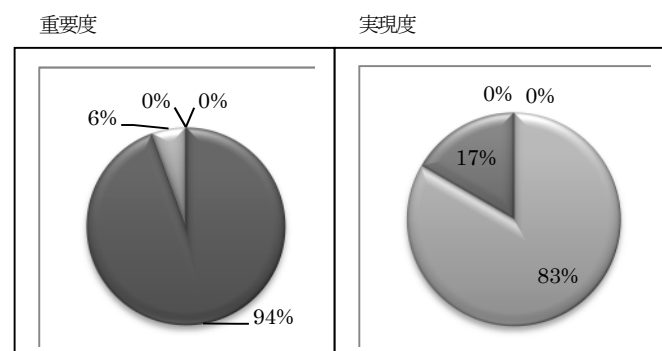
●自分の考えを最後までしっかり話す。



●進んで読書に取り組み、本に親しみ目的に応じた読書をする。

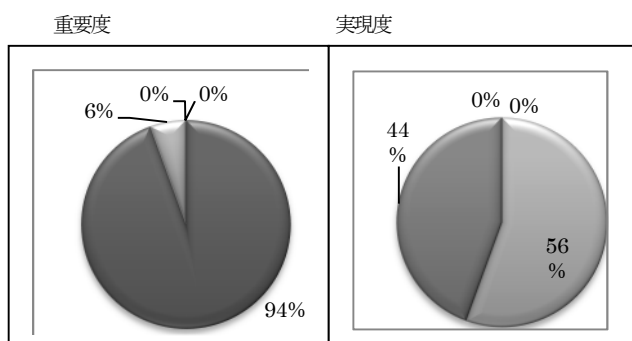


●書こうとすることを明確にし、経験や思いや考えを文章に書く。

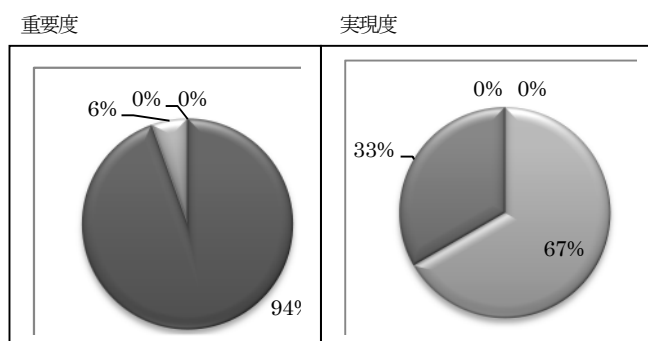


### ◆豊かな心の育成に向けて

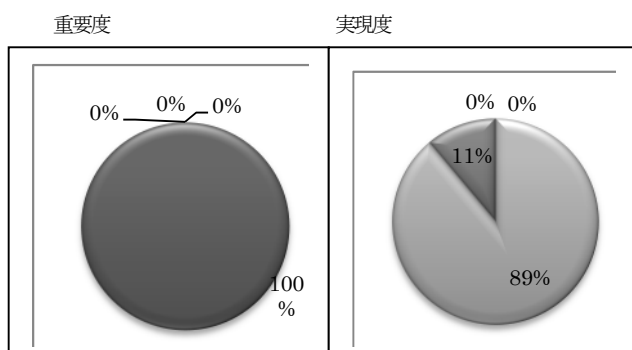
●自分で考え、正しいと思う行動をする。



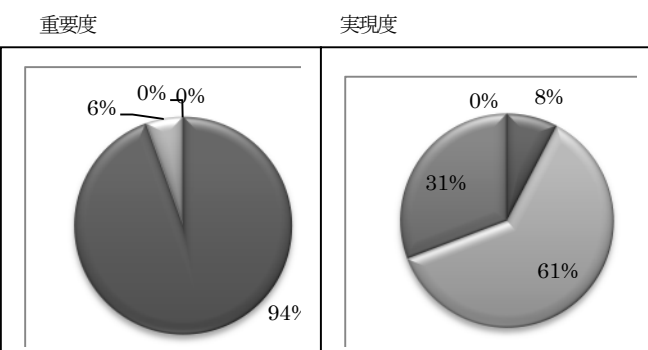
●一人ひとりの違いを理解する。



●自分も友だちも大切にする。

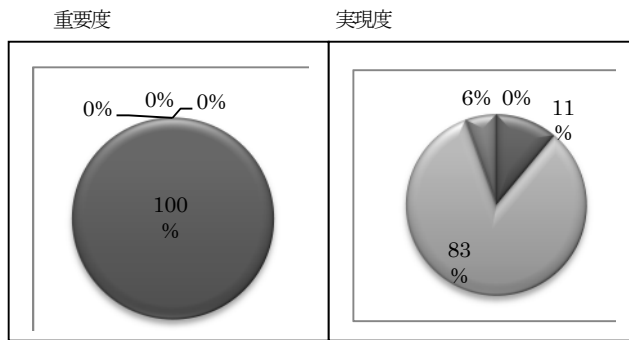


●課題に向かって、根気強く取り組み、最後までやりぬく。

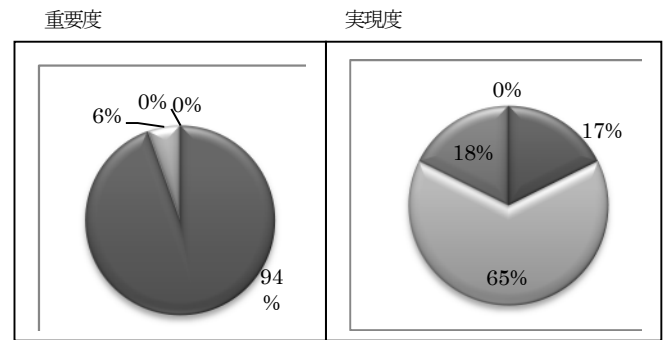


## ◆健やかな体の育成に向けて

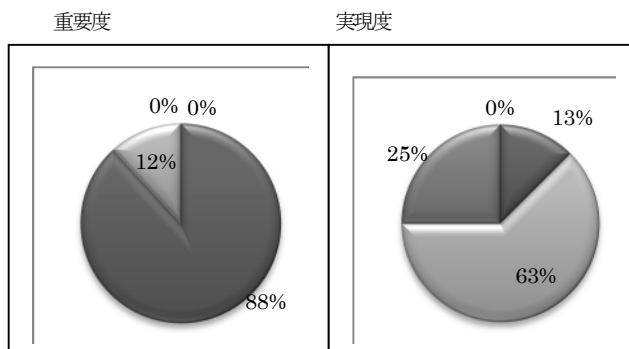
●早寝・早起き・朝ごはんを習慣づける。



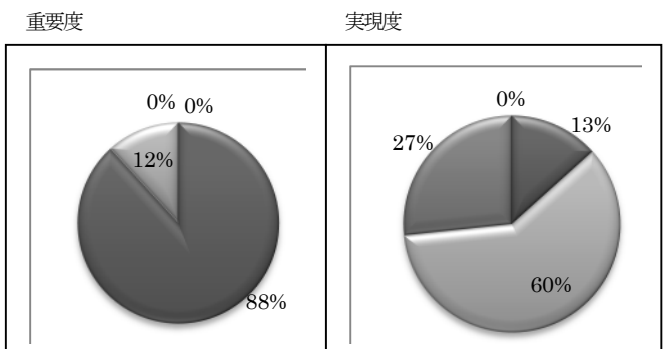
●うがい・手洗い・歯磨きをきちんとする。



●進んで健康な体作りをする。

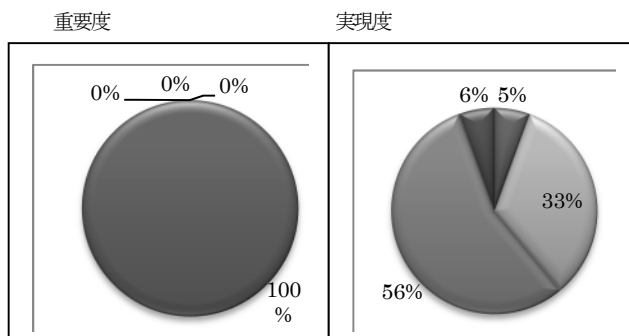


●安全面に気をつけて行動する。

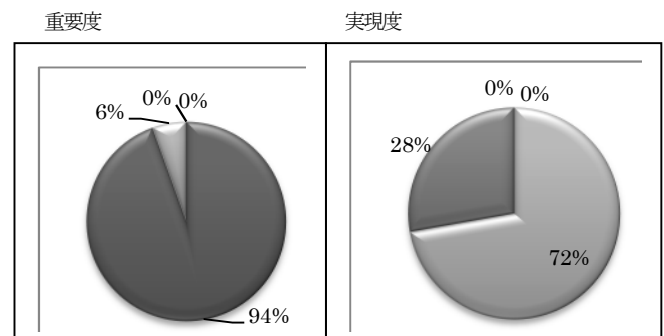


## ◆紫明小学校の取組について

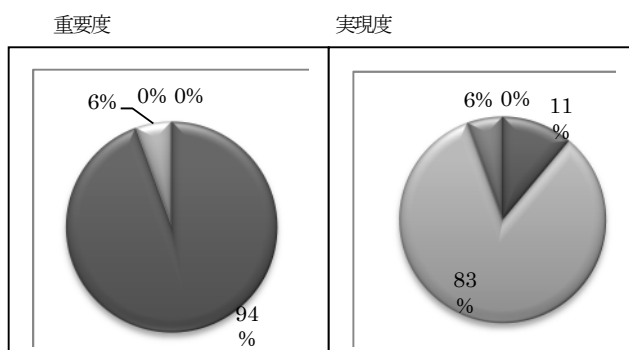
●元気にあいさつをする。



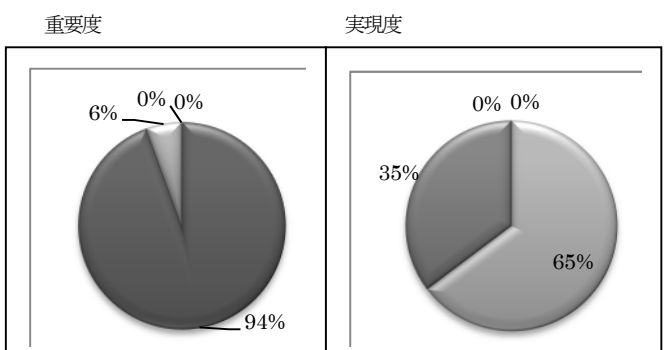
●「紫明校のやくそく」を守る。



●「たてわりグループ」の活動で、いろいろな学年の人と  
なかよくしたり、協力し合ったりする。



●道徳で自分の考えや思いを出し合って、深めたり広げたりし、  
日常生活に結びつける。





- 【自由記述欄にご記入いただいたことを大体のテーマでまとめ、全て記載させていただきます
- ◆学校生活全般・学校の取組に関して
- 紫明タイムの取組はよいと思います。大勢の人前で発言するのは勇気がいると思いますが、がんばってやっていると思います。感心しました。
  - たてわりグループの活動など、小規模校ならではの取組をいろいろして頂いて喜んでおります。上の学年のお兄さん、お姉さんといっしょにした等、嬉しそうに報告してくれます。
  - とても素直な児童が多いと思います。たてわりもとってもいい活動で、1年生と6年生の関わりのかかるたもとてもよかったと思います。
  - 前期・後期を通してとても工夫された教育活動に取り組まれていると感じています。「たてわりグループ活動」は、同学年に留まらず、上下関係の中で人間関係を構築することが出来たり、また、紫明タイムや学芸会などでは自己表現の場として多くの方々に発表することが出来たり、と、単なる学習だけでない教育活動に取り組み、生徒達にとってもよい経験の場となっていると思います。
  - 学校全体として、学年を問わず交流の機会を多くもち、助け合う姿勢が素晴らしいです。
  - 地域ボランティア、紫明幼稚園など、地元の方々との交流でいろいろなことが経験できて楽しいようです。有り難うございます。
  - いろいろな立場の人と関われるたてわりの活動はとても良いと思います。大きい学年は小さい学年を思いやり、小さい学年は大きい学年に尊敬の念をいただいていると思います。
  - 「たてわりグループ活動」として、同じグループで年間通して活動することでより深く仲良くなることの意味や学校の意図の理解はできますが、グループがうまくいかなければ1年間同じメンバーのまま、というのは大変なので気をつけなければならぬと感じました。
  - 運動会で騎馬戦と組体操があったのは見応えがあり良かったです。我が子には関係ありませんが感動しました。
  - 将来的にも人の前で自分の考えを話すということはとても大切なことです。その時に与えられた時間に物怖じせずに自分の意見が話せるようにと思っています。なので、学力向上の項目には厳しく評価いたしました。その他は学校に通う我が子、お友達を見ているととても充実しているように思います。ありがとうございます。
  - 子ども達の様子を知るため、紫明タイムなどにももう少し参加したいと思うのですが、ままならず…でも、朝のあいさつ運動や休日見かけるお友達の様子などは本当に元気で素直な印象を受けています。
  - 道徳の授業を見ていないので、日常生活に結びつけることが出来ているのかわかりません。早寝・早起き・朝ごはんは学校でもしっかりとっていただいているので、子どもも理解し、親としても声をかけやすいので助かっています。今後ともよろしくお願い致します。
  - 勉強に得意・不得意はあっても、道徳教育に得意・不得意はないと思います。学力ばかりに偏ることのない教育をしていただき感謝しています。
  - 土曜学習や長期休暇中の補習など、熱心な取組に感謝しています。子ども自身が進んで参加していて嬉しく思います。今後ともよろしくお願い致します。
  - ぐんぐんタイムの取組はとてもありがたいです。テストや宿題の間違い直しをきちんとするように付箋などを活用して下さっているのもとてもよいと思います。
  - 学年を越えて学校全体が顔見知り、お友達なのは素晴らしいと思います。たてわり活動で低学年のお世話をするのがいい勉強になっています。
  - 「紫明校のやくそく」は覚えて言える程度に絞る方がよいようです。6年生でも空では言えないようです。



## ◆あいさつに関して

- 声かけ運動の時にあいさつを返してくれる子が少ないように思います。
- 2・3年前に比べると、元気にあいさつをしてくれる児童が減っているような気がします。
- 地域の人とのあいさつを積極的に交わしてほしい。一声かけ運動を通して気が付いたのですが、朝は「おはようございます。or いってらっしゃい。」という「おはようございます。」と比較的あいさつをしてくれる子が多いですが、帰りは下校時に「おかえり。」と声かけをしても返ってくる言葉が少ないように感じました。ひょっとすると「おかえり」に対して何と挨拶をすればいいのか戸惑っているのかもしれませんが。「おかえり。」と声かけをしたところ、「こ…こんにちは。」と返ってくることも…。地域の人に「ただ今帰りました。」とか、下校時のあいさつを決めてあげると、挨拶しやすくなるのではないのでしょうか。子ども達には、紫明の地域の人々に守られて愛されていることを肌で感じてもらいたいです。
- 声かけ当番の時に思ったのですが、「おはよう!!」「行ってらっしゃい!」と呼びかけても無反応な（無視する）子がいます。学校の先生からもあいさつは大事だということを指導してほしいです。（特にボランティアで立っていただいている方々に対して）
- 友だちのお父さんお母さん、いつも見守っていて下さるボランティアの方などへも元気にあいさつをしてほしいと思っています。

## ◆友達同士のかかわりに関して

- お友達と言い合いをすることもありますが、すぐ仲直りし、また遊んだりしているようでまだまだかわいいなあと思います。家に友達が遊びに来て、きちんとあいさつする子、しない子がいます。こちらから言えば返ってきます。注意すれば素直に聞いてくれますが、言わないと気がつかないんだな、と思うことがあります。我が子も含めてです。
- いつもありがとうございます。のびやかに、同学年のお友達と楽しく過ごしている様子を子どもから聞き、有り難いことだと思っております。お勉強の自覚がないので、どうやったら学習態度が改まるのかと悩みはありますが、とにかく楽しく学校に通うことが一番だと思うことにしています。

## ◆親として・家庭の教育に関して

- 評価にあげられていた項目は、どれも人が社会に出て一人で生きていく時に必要な事ばかりだと思いました。
- ここにあげられていることは、すべて重要な事だと思います。特に、「健やかな体の育成に向けて」や「紫明小学校の取組について」の項目は意識すれば出来ることです。出来ていないことが当たり前にならないよう、出来ていない所は、個々に具体的に注意・指導すべきだと思います。意識し出来るよう努力している者が損をし、その行動を妨げられないようにしてほしいです。
- おかげ様で、生活面でしっかりしてきたように思います。紫明漢字検定など、学習面でもがんばっていました。今年度は授業参観の機会がやや少なかったのですが、学校ホームページで活動の中身を知ることが出来て、子どものフォローがしやすかったです。有り難うございました。
- いつもいろいろな面で精力的に働きかけて下さっていることに感謝しています。しかし、それに応えるべく土曜のわくわくサタディ等の参加者が少ないことを聞くと、とても残念に思います。お勉強だけでなく、今しか味わうことのできないいろんな体験を学校生活で出来ればうれしく思います。紫明学区は、特に地域の方々との関わりも多く、温かく見守られている子どもたちは幸せだと思います。子ども達に感謝の気持ちが生まれ育ってくれることに期待します。

- 昔は、家庭で教えるべきことを、今は学校でやらざるを得ないところに、親の意識の低さや規範意識の無さを感じます。忙しくても気をつけなければと思います。
- もっとなんでも楽しく出来るように探究心が出るといいと思います。冷めずに成長してほしい。
- 日頃からきめ細やかにご指導と見守り下さりありがとうございます。学校での様子を楽しく話したり、行事や課題に取り組んだりする様子を見て安心し、また、成長を感じております。今後ともよろしくお願い致します。
- アンケートを記入し改めて「あまり出来ていない」事が多いと実感し、反省しました。先ずは、早ね・早起きから頑張ります。
- とても素直に育ってくれていると感じます。暖かな対応をして頂いていること、心より感謝いたします。
- 他の児童ができることが、我が子はできていないなあと改めて思い直し、親子で反省します。
- いつも子どもたちをあたたかく教育していただきありがとうございます。学校生活が楽しそうな様子で安心しています。
- 紫明小学校の教育で、本当に多くのことを勉強させていただいたと思います。児童数が少なく、1クラスしかないことに入学当初は不安に思うこともありましたが、卒業を迎え本当によい教育にふれたと親子ともども感謝しております。ありがとうございました。
- 6年間ありがとうございました。とても充実した小学校生活を送ることが出来ました。親としてとても感謝しています。
- いつもありがとうございます。6年間、たくさんの成長をさせていただけたことをふとしたことで気付かされるこの頃です。1クラスで育つ良さも、悪い所（変化に弱い）なども全て、これからの生活に行かされることだと思います。本当にお世話になりました。
- 校長先生、教頭先生から担任の先生はもちろん、全教職員の方が暖かく子どもたちを見守って下さっていることに感謝いたします。
- 校長先生を始め、先生がすべての子どもの顔や名前を覚えていて、学年、クラスに関係なく声をかけたり見て下さっているのが、少人数の小学校に通っていてよかったと思えるところです。学校・地域で育ててもらっていると感じます。

## ◆その他

- いろんな活動の取組に一生懸命なことに感謝しております。
- いつも有り難うございます。あたたかく指導していただき、日々感謝しています。これからもよろしくお願いします。
- 1学期の時に難しかった「一人ひとりの違いを理解する」ということが、今はだいぶ出来るように感じます。違う学年の子達の関わりなど、紫明小の規模だからこそ実現できている、大切な事だなと思います。
- 毎日の宿題にももう少し工夫がほしいです。少しのことでも一年間の積み重ねはとても大きいと思います。毎年、使いまわし??
- 漢字検定に取り組むのもよいと思います。（他校では自由参加で案内が来ているようです。）
- これからも健全で楽しい学校生活が送れますよう、宜しくご指導お願い致します。
- 毎日楽しく学校に行くことが出来ているので、子どもらしくてとても良いと思っています。有り難うございます。
- 人見知りをするので、たてわりグループの活動がなければ他の学年やクラスの子と遊ぶことは無いと思います。まだ苦手なようですが高学年になってリーダーになれるよう頑張ってください。

- 道徳教育や漢字・計算力向上にご尽力いただき有り難うございます。引き続き継続していただけることを願っております。
- いつもありがとうございます。
- マラソンや大なわとびの練習のような、参加を自主性に任されるものをさぼりがちです。気付かれたら参加するようにお声かけいただければ有り難いです。
- しっかりした子が多いためか女子が男子よりも強いようです。元気でリードするのは大事だと思うのですが「男の子はさわらんといて。」などと言い、係活動から男子を外すことがあると聞きます。互いの良い点・悪い点を認め、男女が協力できるように成長してくれればいいなと思います。
- 学校では色々な体験をさせていただき感謝しています。大人がすべて用意したものを体験するだけでなく、一から子どもの手で作り上げるという体験も出来れば、もっと素晴らしいと思います。
- いつもお世話になり有り難うございます。
- いつもお世話になり有り難うございます。先生が大好きで毎日楽しく学校に行かせていただいています。なかなか上手く自分の思いを口に出出来ないほうですが、心の中では色々考えており、それを先生がきちんとわかって下さっていることが、子どもが先生を大好きである理由だと思います。私も先生のように子どもの思いに耳を傾け、ダメな事はきちんと指導し、親のエゴを押しつけない、いいところは素直にほめてやりたいと思います。
- 平素は大変お世話になり有り難うございます。どうぞ今後ともよろしくお願い致します。
- 我が子がよい行いをした時など、担任の先生からおほめの電話をいただくことがあり、とても嬉しいことではありますが、良い行いをした時は直接本人をほめていただき、親への報告は懇談の時などで充分です。忙しい先生の貴重な時間を割いて連絡下さることを心苦しく感じます。
- ここ数年、マニュアル通りの対応、融通の利かないことがあり、「学校」に対して距離を持って接しております。
- 学校の中での付き合いは、結局近所だけの付き合いとなってしまう、狭い社会となってしまう、学校以外での活動も重要視した方がよいと考えます。別件ですが、給食のメニューが大人目線のような気がします。子どもたちが喜んで食べるようなメニューにして頂きたいですね。
- 子ども達がみな、とても元気で子どもらしくいつもとても熱心にご指導下さる先生に感謝いたしております。
- みんなで一生懸命やりとげたり、熱中することに冷めてきている気がするのが残念です。
- 毎日楽しく学校へ行っています。子ども達の話をよく聞いて下さってありがとうございます。
- 夏季のプール活動で、低学年と高学年の水の深さの差があまりなかったと聞いています。高学年では浅いプールは非常に泳ぎにくく、級のテストの時に普段のタイムが出せなかったため、少し悔いが残ったようです。テストのときだけでも水の深さを増やすことはできないでしょうか？
- インフルエンザなどによる他学年の学級閉鎖についてもお知らせをしてメール配信があるとよいと思います。
- 「安全面に気をつけて行動する」という項目について、登校時はよいと思うのですが、下校時が気になります。一人で下校したり、通学路を外れて人気の少ない道を通るお子さんや、室町通を道いっぱいには広がっているお子さんもしばしば見かけます。自分の身を守るための、下校時のマナーを身につけてほしいと思います。
- 教室などに置いてある本の目録などは作っておられないのでしょうか？ 子どもが前のクラスで読んでいた続きを読みたいんだけど、どこにあるのかわからへん、と言っておりましたので、ふと気になりまして。もし保護者の手伝いで何とかならいつでもおっしゃって下さい。
- いろいろお世話になり、ありがとうございました。

今回も前期学校評価と同じく[◆確かな学力の向上に向けて][◆豊かな心の育成に向けて][◆健やかな体の育成に向けて][◆紫明校の取組について]の4つのテーマについてそれぞれ4項目ずつマークシートでお答えいただくようにし、最後に自由記述欄も設けさせていただきました。

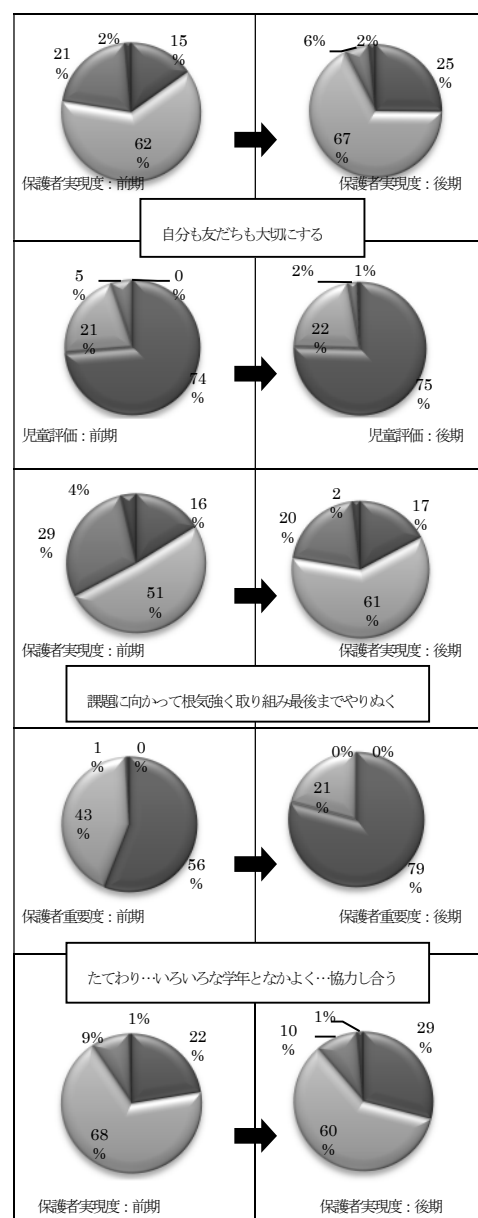
前後期の集計結果を比較しながら見ますと、全体としてはそれほど大きな変化はありませんでした。その中で変化の大きかった項目や、自由記述欄にいただいたお声の多かった項目を中心に、以下に学校評価のまとめをさせていただきます。



前期に比べて、後期がよりよくなっている点として、『自分も友だちも大切にする』の項目が挙げられます。自分も人も大切にすることができてこそ、毎日を楽しく、いろいろなことに意欲を持って過ごすことができます。今後も「大体出来ている」がさらに「よく出来ている」に高まっていくよう、取り組んでいきます。



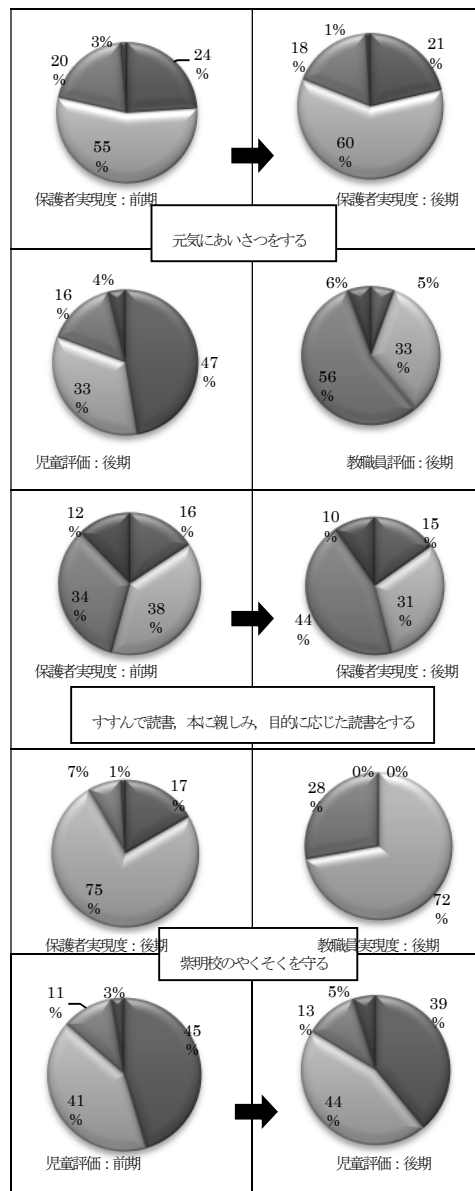
また、『課題に向かって、根気強く取り組み、最後までやりぬく』の質問は児童にはありませんが、保護者の方からは、前期に比べ後期は高い評価をいただきました。私たち教職員も、いろいろな行事・学習の中で最後まで頑張る子ども達が育ってきていることを感じています。これからもいろいろな取組に意欲的に挑戦し、最後まで粘り強くやりぬいて、どんどん力を伸ばしてほしいと願っています。



「たてわりグループ」の活動については、前期はまだあまり分からないという保護者の方もおられたことと思います。いろいろな活動を知っていただく中で、これは重要な取組だというお考えが多くなりました。そして、そのたてわり活動を通して、『いろいろな学年の人と、なかよくしたり協力し合ったりする』ことが、後期は前期よりもよく出来ていると評価が上がりました。また、自由記述欄に書いていただいた中でも「よい取組なので続けてほしい。」というお声をたくさんいただきました。一年間一緒に活動するグループの編成やその活動の様子の見守り、リーダーとしての高学年の育成などに十分に力を注ぎ、高学年の自覚と責任感、低学年が高学年を見本として頑張る良い校風、学校全体の温かいつながりなどを育むことができるように、教職員の力を合わせて工夫し、さらにより取組にしていきたいと思います。



一方、気になる点としては、先ず『元気にあいさつをする』の項目が挙げられます。挨拶は人と人を  
つなぐもの、社会生活の基本としてとても大切なものと考え、学校でも日々指導し、声をかけ、指導を  
行っています。ところが、保護者評価の実現度、児童評価、教職員評価の実現度のいずれも、後期の方  
が残念な結果となっています。また、自由記述欄にも「もっと元気にあいさつしてほしい」とのお声を  
多数いただきました。もちろん学校では常日頃からあいさつの大切さを子どもたちに話し、朝の校門で、  
職員室前で、各教室で、給食や下校時に…ときちんと挨拶をしています。しかし、形通りの決まった挨  
拶ではなく、「顔を合わせて、自分から進んで、元気な気持ちの良い挨拶が出来ているか」と言う



そうはいえない部分があります。学年が上がるに連れて、だんだん照れたり、少し恰好をつけたり、面倒がったり、というような面も無きにしもあらず、…なかなか難しいことです。ご家庭での様子はいかがでしょうか。家族はもちろん、地域の方、外で出会う人、お世話になる人、いろいろな人と心を通わせるよい挨拶ができるようになってほしいと願い、今後も働きかけを続けていきます。ご家庭でも毎日顔を見て声をかけ、人とつながり挨拶したくなる気持ちを育てていただきますようお願いします。

『すすんで読書に取り組み、本に親しんだり、目的に応じた読書をする』の項目も、後期の方があまり出来ていない結果となり残念です。TVやゲーム、ライン、インターネットなど手軽ですぐ楽しめるものに目や時間を奪われがちだと思いますが、豊かな感性・想像力を育み、語彙を豊かにして思考力をのばしていくためには、学童期の読書は欠かせないものです。学校でも読書タイムを設け、各教科の学習にもできる限り図書室を活用するようにしています。ご家庭でもぜひ工夫してその習慣づけを図ってください。

『紫明校のやくそくを守る』の項目も、保護者・教職員評価の実現度、児童評価のどれもが後期の方が「あまり出来ていない結果となりました。児童の評価は、前期よりも後期の方が、自分自身の考え方や行動、質問項目の意味をしっかりと把握できるようになり、正直に自分に厳しくつけている児童が多いためとも考えられます。けれども、自分達の学校を大好きな、誇れる学校として大切に考え、よりよくしていくために、どの子も『紫明校のやくそくを守る』ことが当たり前で「しっかり守ってるよ」と答えられるようになってほしいものです。

毎年、内容を見直し、指導に当たる姿勢を全教職員で共通理解していますが、来年度は目標的な内容は「紫明校のめざす子ども像」のところに詳しく表記し、学習規律的なものは別項にまとめるなど、さらに整理して、児童にも保護者の方々にも分かりやすく示し、「自分達の学校を自分達でよりよくしていく。そのために大事なやくそくは守る。」という気持ちや態度を育てていきたいと思ひます。



お忙しい中、学校評価のアンケートにご協力いただき、また、様々な角度から貴重なご意見をいただき、有り難うございました。今回の結果をしっかりと受け止め、今後の学校運営に生かしてまいります。今後とも温かいご支援・ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

## 学校運営協議会ニュース

3月3日（火）午後6時より、学校運営協議会理事の皆様にお集まりいただき、平成26年度第2回の学校運営協議会理事会を行いました。

後期の紫明小学校の取組と児童の様子について学校から報告をするとともに、保護者の皆様からいただいた後期学校評価と児童の学校生活ふり回りアンケートのまとめについての考察をし、紫明小学校が今後取り組んでいくべきことについて話し合



いました。今年度前期から、学校評価のアンケート方式を変更させていただき、今回が2回目となります。前後期、同じ設問での実施ですので、「教育目標実現に向けて、学校では必要な取組が充分に出来ているか」「前期に不十分であったことが、後期には改善出来ているか」等の観点で評議をし、ご出席下さった理事の皆様から貴重なご意見を頂戴しました。

簡単なまとめとなりますがご報告いたします。

後期も前期と同様、大人（保護者・教職員）の『実現度』の評価と児童のふり回りの結果には差があります。それについて「総じて大人よりも児童の評価は甘いものだ。」「児童自身も質問項目の中身をよく考え、具体的に分かるようになって、自分自身に厳しくつけた面も見られる。」「あいさつについて、あまり出来ていないという評価や記述が多いようだが、普段わりによくあいさつをしてくれるように感じる。」などのご意見がありました。「知っている子はよくあいさつをしてくれる。よく知らない人にはあいさつしにくいものだ。」「あいさつが大切、という一方で、知らない人に話しかけられても…ということもある。」「あいさつにも個人差があり、大人でもなかなか出来ないこともある。」などのお声もありました。地域のつながりが薄れてきている現代



ですが、紫明校区では安全の見守り、子ども達のための行事、学校活動へのボランティア、調べ学習へのご協力など、様々なお世話になっています。お世話になる方々、近所の方々のことをよく知り、「形ばかりでなく、相手の人に気持ちを伝える」気持ちの良いあいさつができるように、今後も取組を続けていきたいと思ひます。

また、今年度力を入れて取り組んできた「たてわりグループ」の活動については、「6年生全員がリーダーになり、5年生がサブリーダーとして頑張る姿を見せることは、4年生以下の児童がこれから頑張っていくことにつながる。」「自分の子ども時代を振り返ると、下の人のことはほとんど知らなかったが、自分の子どもが低学年のことをよく知っているのに感心する。」「中学生・高校生になったころに成果が見えてくる。」「6年生が1年生を見る目が優しい。」など、高く評価していただきました。全校のたてわりグループだけでなく、そのつながりを生かして、いろいろな学年で学習の発表を聞いてもらったり、自分の学年の「〇〇大会」に招待したり、6年生が低学年に読み聞かせをしたり、と取組は少しずつふくらんできています。来年度も、より自

主的で継続的なよい活動になるようにしていきたいと思います。

後期の「出来ている評価」が低かった項目として「読書」についても話題に上がりました。「読書は今でもする子はよくしている。」「読書の習慣のある子とない子の差が大きい。」「読書よりとっつきやすいゲーム、スマホ等に時間を取られている。」というのが共通認識です。「電車内でも見れば9割以上が画面をのぞいている時代、家庭でもなんの約束もなしに野放しにすると際限なくやりかねない。」「家では寝る時間を決め、すべきことをその時間までに出来るように逆算してやらせている。」「ゲーム類は持たせていない。」など色々なご意見がありました。今の時代に全く持たせないのは難しいことですから、どう使いこなすか、使うことによって生じる問題をどう解決するか、いろいろな抑制力や判断力を育てていかなければなりません。また、何よりも保護者や教職員が現状をよく知っていることが重要です。今後も6年生対象の「ケータイ教室」や家庭教育講座等で取り上げていきますので、関心を持って各家庭で子ども達に適切なアドバイスをお願いします。



「学校のきまり（紫明校のやくそく）」について、「きまりは皆が覚えられるよう少ない方がよいが、少なくすれば決まりに書いてないという人もある」というように、人によって様々なとらえ方・多様な意見があります。この一年間を振り返り、来年度の1年間を見通して、現在教職員全体で見直しをしています。「要は良識ある行動をしようということなのだが、その良識をどうやって育てていくかが問題だ。」というご意見をふまえ、より分かりやすい形で示して、「みんなの学校をよりよい学校にするためにみんなのルールはみんなが守る」という姿勢で指導をしていきたいと思っています。



その他、アンケート項目全体や、自由記述欄に記入された文面全体を通して、「学校の取組に対して保護者は全体的に肯定的であり、児童の健全な育成に対して大変高い関心と意欲、協力的な姿勢をもっておられる印象を受ける。それは、学校が児童を大切に考え、一つ一つの事がらにきちんと取り組んでいるからだ。」というご意見をいただきました。そのように見ていただいて有り難いことです。全体を通して「親の意識がどこに向いているか」を考えますと、「自分の考えをしっかりと話すことやあいさつをすることなど、コミュニケーション力の向上を求めているのではないか。」とのご指摘があり、「家庭での会話は、単語や首ふりだけでも事が足りることもある。普段からどのように接し、どのようにしつけているか、家庭での取組もとても重要で、この場だけで話し合っているのがもったいない、もっと多くの保護者の方とこういう話し合いができれば。」とのご意見もいただきました。学校評価のアンケートではありますが、今後は「各ご家庭で気をつけておられること、工夫されていること」などを書いていただく欄も設け、それをご紹介して、お互いに参考にしていただけたらいいのではないかと考えております。

平成26年度も残すところわずかですが、いつも温かくご支援・ご協力いただき、いろいろな行事や参観にお忙しい中、多数お越し下さいまして、本当に有り難うございました。これから、どの子ども学校が大好き、友だちが大好き、と感じて毎日楽しく過ごし、生き生きと活動してそれぞれの力を伸ばしていくように取組を続けます。今後ともどうぞよろしくお願い致します。